



## 9月2日に想うこと

敵艦の中へ入っていく事はどれだけ屈辱的だったことでしょうか。我が国の歴史上初となる降伏調印式が**80年前**の昭和20（1945）年9月2日（日）に行われました。

日本はポツダム宣言を受け入れ、アメリカの戦艦ミズーリの甲板にて降伏文書にサインしました。日本全権は軍代表として梅津（うめづ）参謀総長と、政府代表として重光葵（しげみつ まもる）外相。重光は片足が義足で約10kgです。甲板までステッキを頼りに喘ぎ喘ぎ登りました。そして甲板上で一杯の水を所望したが、冷たく断られたと伝えられています。戦艦ミズーリは当時、アメリカの最新の戦艦であり、大統領トルーマンの出身がミズーリ州でもありました。

星条旗（ペリーのときのもの）



マッカーサー  
最高司令官



重光 葵  
外務大臣

梅津参謀総長

写真の壁面の「星条旗」は星が31しかない。つまり、アメリカがまだ31州しかなかった時代のもの。1853年にペリー艦隊が掲げていた「星条旗」をわざわざ取り寄せて式に掲げました。また、降伏文書調印式は東京湾で行われた。それも、ペリーの黒船が停まった場所と同じところにマッカーサーはわざと戦艦ミズーリも停泊させました。

現在、戦艦ミズーリはハワイの真珠湾（パールハーバー）に記念艦として係留されています。重光葵は降伏文書調印式に向かう朝、心境を次のように詠みました。

ねが みくに すえ さかえ ゆ わが な ひと おお  
「願はくは 御国の末の 栄行き 吾名さげすむ 人の多きを」

<意訳>

いつかまた日本が再び繁栄を迎え、屈辱の降伏文書に署名をした**私のことを軽蔑・罵倒される日がくることを願う**。後世の日本人が再び立ち上がってくれることを願った。